

○観念

「子どもが人のせいばかりして、自分が悪いとなかなか思えないことがあるのはどうしてだろう？」
主観的な物事の見方にとらわれやすく、客観的なものごとの見方がなかなかできない傾向があると、自分の思い込んだことに捉われやすくなります。この思い込みのことを『観念』と言います。『観念』とは主観的なものごとの捉え方です。つまり人それぞれ違います。では、子どもがどんな観念をもっているのかを知るにはどうしたらよいのでしょうか？

子どもがどんな観念をもっているかは、『言葉』と『表情やしぐさ』に表れてきます。相手や出来事が原因でできないんだ、などという言い方をする場合、被害者になる観念をもっていると言えます。子どもの被害者意識が強いと思われるときは、客観的な見方ができるようなトレーニングを行っていくことが大切です。

トレーニングの一つとして、日記を書くという方法があります。紙に書きだすということはアウトプットすることなので、客観的になりやすいのです。

日記を書くときは、『客観日記』と『主観日記』に分けて書いていきます。

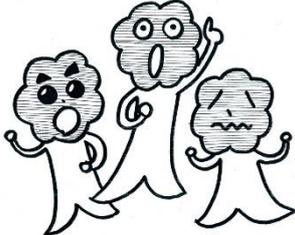
『客観日記』・・・客観的に誰が見ても同じく思えるような『出来事』だけを書く

『主観日記』・・・自分の気持ち・思ったこと・感じたことだけを書く

客観的な『出来事』と主観的な『自分の気持ち・思ったこと・感じたこと』を分けて捉えられるようにしていきます。主観日記にはポジティブな感情もあれば、ネガティブな感情も表れます。ネガティブな感情を否定せず、両方を受け止めることがとても大切です。ありのままの自分でいいんだと子どもが自信をもつことにつながります。

自分のことを客観的に見られるようになっていくことによって、自分の気持ちや感じていることが分かるようになれば、相手の気持ちに気付くことができるようになっていきます。

(参考 心理カウンセラー 黒瀧素子 さん ブログ)

ホームページ更新しました	来週の予定				
	月	日	曜	時間	行事等
○プール清掃、お疲れさま ○朝礼および表彰 ○5年 2回目の調理実習 ○6年 租税教室  十東小キャラクター かんばりの木(力、笑顔、工夫)	6	13	月		代休
		14	火		読み聞かせ1年 交通安全教室 一斉下校 15:45
		15	水		PTA登校指導 ふれあいタイム(6年企画) 1~2年スクールガード下校 14:55 3~6年下校 15:45
		16	木		読み聞かせ5年 プール開き 14:55 1~3年下校、4~6年クラブ 15:45 4~6年下校
		17	金		読み聞かせ1・3年 14:55 1~3年下校 15:45 4~6年下校

子どもたちの活動の様子は、本校ホームページをご覧ください。

十四山東部小学校

検索

または

